

## 新庁舎整備事業

# 「町民説明会」

- 1 町役場建替えの経緯
- 2 今後の建替えプラン
- 3 町役場を移転する案
- 4 当面の進め方
- 5 これからの取組み



1

## 町役場建替えの経緯



- ①町役場本庁舎は築54年
- ②前町長時代に現地建替えの方向
- ③町長選挙では「耐震補強検討」
- ④一昨年9月議会で補正予算が否決  
町議会は速やかな建替えを決議

2

# 今後の建替えプラン

- ① 総工費 43.6億円 → **72.8億円 (84.4億円)**
- ② 資金計画 (延床**5,500㎡**)
  - 基金 **15.0億円 (15.0億円)**
  - 地方交付税 **19.8億円 (19.8億円)**
  - 町の借金 16.5億円 → **38.0億円 (49.6億円)**
- ③ 新庁舎完成 R10.5月→R11.10月 (移転完了はR12.2月)

※アスベスト対策、ICT移設、駐車場送迎などで追加費用 約**11.6億円**

3

# 町役場を移転する案

2月の町民説明会で、町民から企業研修所への移転に関する意見があり、確認を行った。

移転を前提に土地建物を購入し、建物内を改修する想定で概算費用を算定すると

- ① 移転事業費 **約41.6億円**
- ② 資金計画
  - 地方交付税 **約19.8億円**
  - 町民負担 **約21.8億円**

土地・建物購入  
施設の改修  
既存庁舎の解体  
エレベーター新設  
移転費用 (引越し)  
備品購入等

4

# 研修所企業との交渉

(立ち止まりました)

○土地・建物金額が町の推計した売買価格  
(約11.6億円)を大きく上回る。

→住民監査請求の対象

○事業費の概算費用は50億円を超える金額  
となる。

→企業研修所の買収を断念

5

## 当面の進め方



- ① 7月1日の臨時町議会に72.8億円  
(84.4億円)プラン補正予算提出
- ② 7月中旬公募型プロポーザル公告
- ③ 来年1月に技術提案書評価実施
- ④ 来年3月に事業者と本契約締結

6

## 町財政へのインパクト

○最大50億円の借入：令和9～40年  
にかけて毎年約3億円の返済必要

○運動公園の場合は約36億円借入  
→20年間、毎年2～3億円を返済

**課題：町民サービスの向上との両立**  
(消防庁舎、学校関係の整備も予定)

7

## これからの取組み①

○72.8億円(84.4億円)は上限額  
㎡単価は112万円→本体61.6億円

○最低額は70万円 →本体38.5億円  
(R7年1月時点のヒアリング等による)

○多様な提案(木造や機能分散)促す

**→全体工事費の抑制**

8

## これからの取り組み②

- 事業者選定委員会の審査・選定に町民が参加（9月議会提案予定）
  - 基本設計の段階で町民の意見を反映
  - その後も随時、町民の意見を反映
- ➡全工程への町民参加

9

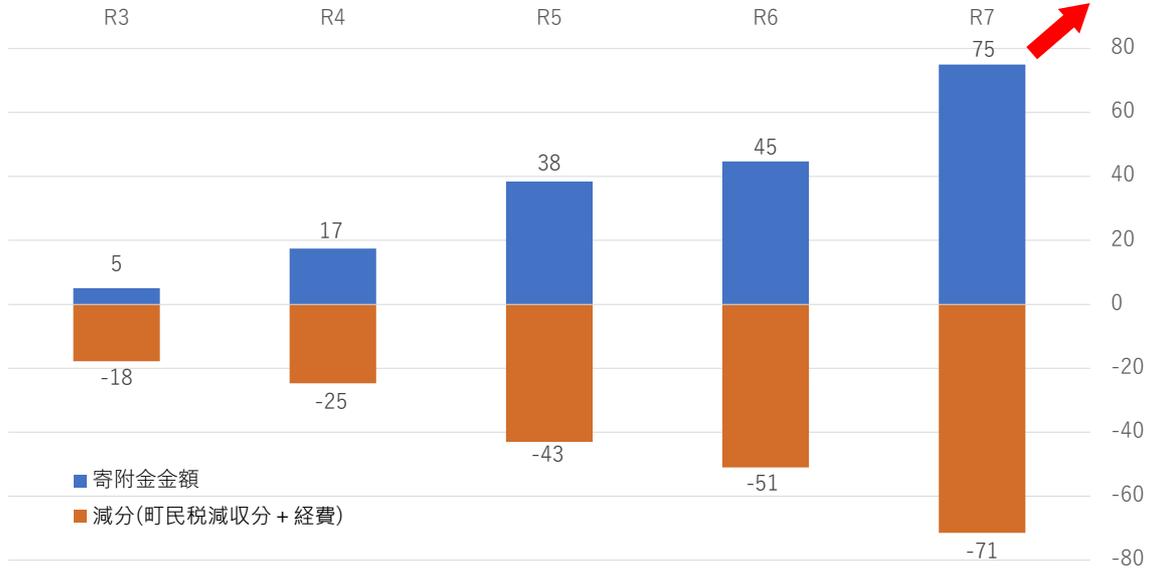
## これからの取り組み③

- ふるさと納税・企業版ふるさと納税など寄附金の促進
  - 大磯港駐車場収益の向上（イベント）
  - 観光施設の収益改善（ツアー商品開発）
- ➡財源確保対策推進

10

## 大磯町ふるさと納税の状況

(単位：百万円)



11

## 令和5年度における各市町村のふるさと納税受入額(県内/全国)

### 神奈川県内

(単位：百万円)

順位	団体名	受入額
県	市町村	
1	神奈川県 鎌倉市	2,052
2	神奈川県 箱根町	1,733
3	神奈川県 川崎市	1,606
4	神奈川県 南足柄市	1,348
5	神奈川県 横浜市	1,186
20	神奈川県 平塚市	171
28	神奈川県 大磯町	38
29	神奈川県 清川村	37
30	神奈川県 伊勢原市	35
31	神奈川県 大井町	28
32	神奈川県 真鶴町	8
33	神奈川県 二宮町	3

### 全国

(単位：百万円)

順位	団体名	受入額
県	市町村	
1	宮城県 都城市	19,384
2	北海道 紋別市	19,213
3	大阪府 泉佐野市	17,514
4	北海道 白糠町	16,778
5	北海道 別海町	13,903
6	北海道 根室市	12,554
7	愛知県 名古屋市	11,710
8	静岡県 焼津市	10,687
9	福岡県 飯塚市	10,513
10	京都府 京都市	10,006
11	茨城県 境町	9,938
12	宮城県 気仙沼市	9,489
13	岩手県 花巻市	9,060
14	山梨県 富士吉田市	8,809
15	宮城県 宮崎市	8,192

12

## 大磯港駐車場の収支



13

## 主な観光施設などの収支(R7予算)

- ① 旧吉田茂邸 ▲964万円
- ② 明治記念大磯邸園 ▲1,252万円  
(2年後に3,000万円程度)
- ③ 鳴立庵 ▲1,044万円 (指定管理費)
- ④ 旧島崎藤村邸 ▲438万円 (管理費)

14

## まとめ

- 企業研修所買収断念
- 町民サービス向上との両立
- 全体工事費の抑制
- 全工程への町民参加
- 財源確保対策推進